

6年生の保護者の皆様へ

南ヶ丘小学校 理科専科 佐藤 琢朗

まぶしい太陽が照りつけ、いよいよ本格的な夏がやってきます。

先週「100万本のどんぐりの植樹計画」の一環で子どもたちと植えたどんぐりの赤ちゃんたち。

まだ土の中で根を張っている段階だと思います。毎日「大きくなってね」と水をあげる子どもたちの真剣な眼差しに、命を育てる実感が宿っているのを感じる日々です。

さて、これから夏休みに入ります。そこで皆様に、この小さな命を秋へと繋ぐ、大切な「水やり」のお手伝いをお願いさせていただきます。

どんぐりにとって、日本の夏の暑さは大敵。特に小さな鉢の中の土は、驚くほどの速さでカラカラに乾いてしまいます。せっかくここまで育った苗が、たった1日の水枯れで元気を失ってしまうのは本当に切ないもの。

ご家庭では、以下の2点だけ心を配っていただけると助かります。

夏のどんぐり 水やりのコツ

ポイント1

水やりは朝か夕方に

鉢底から流れる涼しい時間に

7:00 AM 6:00 PM

鉢底から流れるまでたっぷり

日中は鉢がお湯になるよ!

ポイント2

置き場所は「半日陰」

強い直射日光を避ける

木陰やすだれの下へ

直射日光や西日に注意!

ここがベスト!
(植物にとっても快適!)

水やりは朝か夕方に、たっぷり 日中のいちばん暑い時間に水をあげると、鉢の中の水がお湯のようになって根を痛めてしまいます。朝の涼しい時間、あるいは日が落ちてから、鉢の底から水が流れ出るまでしっかりあげてください。	置き場所は「半日陰」がベスト 一日中カンカン照りの場所よりも、午前中だけ日が当たるベランダや、木陰になるような場所が理想的。強い西日からは守ってあげてください。
---	--

裏面もあります。

「毎日お水をあげるの、ちょっと大変そうだな」と感じる日もありますよね。

旅行などで家を空けるときはどうしよう、と悩まれるかもしれません。

その際は、数日なら腰水（トレーに少し水を張って鉢を浸す方法）にするなどして、工夫しながら乗り切っていただければと思います。



この厳しい夏を乗り越えれば、秋にはさらにたくましくなった姿に出会えます。

子どもたちが自分で植えたどんぐりが、夏の暑さに負けずに生き抜く強さを、ぜひ一番近くで見守ってあげてください。

休み明け、一回り大きくなった苗と子どもたちに会えるのを心から楽しみにしています。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

裏面もあります。